組報 みなみ会

第14号
2015（平成27）年3月1日

浄土真宗本願寺派東京教区南組　大田区本羽田3-17-6　海岸寺内　TEL.3742-0921

# 親鸞聖人 特集 P4・5

# 関東伝道800年

## ～関東地方での親鸞聖人の足跡をたどる～

仏教婦人会連盟 研修会

## P6 金子みすゞ いのちへのまなざし

講師／女優 保谷 果菜子さん

目次

P2 —— 親鸞聖人のことば「凡夫」
P3 —— 寺院紹介 徳淨寺
浄土真宗Q&A ご法事の意味は？ いつおつとめするの？
P7 —— 法統継承に際しての消息

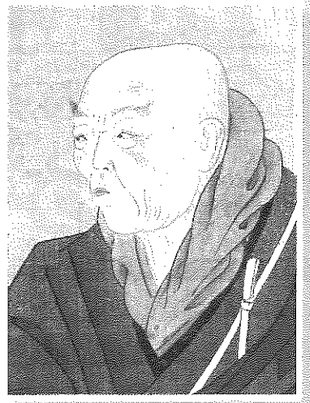
# 親鸞聖人のことば

## 凡夫

（『拝読 浄土真宗のみ教え』より）

親鸞聖人は仰せになる。

凡夫といふは　無明煩悩われらが身にみちみちて
もおほく　いかり　はらだち　そねみ　ねたむこころおほく
くひまなくして　臨終の一念にいたるまで　とどまらず　きえず　たえず



凡夫は、命終わるその瞬間まで、煩悩から離れられないものを言う。すべてのことを私中心にみて争いをおこし、欲望・怒り・妬みに、心と身体を悩ませ苦しみ続ける。

仏法に出あうとき、煩悩に満ちみちている凡夫は、他の誰のことでもなく、この私のことと気づかされる。念仏申すひぐらしの中に、ありのままの私の姿を見せていただく。





南組の寺院紹介

# 海松山　徳浄寺

大田区大森東1-16-22　☎ 3761-4127

徳浄寺は大田区大森にあるお寺で旧東海道、現在は美原通りと呼ばれる商店街沿いにあります。旧東海道の景観は国道の整備などによりほぼ失われてしまいましたが、当時の道幅を比較的残しているのは大田区ではこの付近900メートルと、六郷地区の一部のみだそうです。

大森は海苔の養殖発祥の地とされ、17世紀後半に全国で初めての海苔養殖が始まったといわれています。1963（昭和38）年の東京湾埋め立てにより海苔の生産者はいなくなりましたが、現在も日本有数の海苔問屋が多い地域で、発祥の地としての誇りと伝統の味を守っています。

1945（昭和20）年4月15日、終戦のわずか4か月ほど前に城南地域は大空襲を受け、森ヶ崎以東と入新井の一部やガス会社、特殊鋼を除いて一面の焼野原となり、その被害は六郷川まで及びました。その空襲により徳浄寺本堂も消失してしまいましたが、1960（昭和35）年第14世住職唯定により、築地本願寺と同じくインド様式の本堂として再建されました。

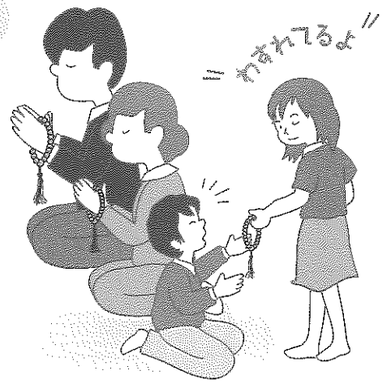
浄土真宗Q&A

## Q　ご法事の意味は？　いつおつとめするの？

**A**　浄土真宗のご法事は、亡き人をご縁とし、いのちを深く大切に生きる道である仏教に出遇わせていただくことに、大きな意味があります。

亡き人は阿弥陀如来さまのお救いによって、必ずお浄土にご往生され、み仏さまになられます。亡き人に導かれ、ご法事という場をいただいて、私たちのいのちが限りあるかけがえのないものだという、大切なことに気づかされるのです。

ご法事には、通夜・葬儀をはじめ、ご往生より七七日（四十九日）まで7日ごとにおつとめする中陰法要、百箇日法要、年回法要などがあります。年回法要はご往生より1年後の「一周忌」、2年後の「三回忌」、その後は「七回忌」「十三回忌」「十七回忌」「二十三回忌」「二十七回忌」「三十三回忌」「三十七回忌」「五十回忌」（以後50年ごと）とおつとめするのが関東では一般的ですが、地域の習慣により、時期が異なる場合があります。




ご法事は参集されたご家族やゆかりある方々への尊い仏縁として、ぜひおつとめしましょう。

# 親鸞聖人関東伝道800年

## ～関東地方での親鸞聖人の足跡をたどる～

**2014（平成26）年は、1214（建保2）年に親鸞聖人が関東の地で伝道を始められて800年にあたります。そこで6月29日（日）には築地本願寺で「親鸞聖人関東伝道800年慶讃法要」が勤められました。今回は、関東地方での親鸞聖人の足跡をたどります。**

### 関東へ移住される

親鸞聖人は、1173（承安3）年、京都でお生まれになりました。9歳で出家、比叡山でのご修行の後、29歳の頃、法然聖人のもとでお念仏を学びます。しかし、35歳の時に朝廷から念仏停止の命令が出され、聖人は罪人とされて越後国（新潟県）に流されました。39歳の時に罪を許されても越後国に留まり、42歳の時、奥様の恵信尼公とご子息を連れて、関東の常陸国（茨城県）へ向かわれたのです。

### 自力の慈悲には限界がある

聖人は越後国から常陸国へ向かう途中、佐貫（群馬県邑楽郡明和町）を通られました。ここは利根川と渡良瀬川に挟まれた地で、たびたび水害に苦しめられていました。聖人はここで、人々を救うため、浄土三部経を1000回読むことを始められました。しかし、読み始めてから4、5日で「人が持つ執着の心、自力の心は、よくよく考えて気をつけなければならない」（『恵信尼消息』第3通）と思い直され、読経を中止されました。自力の慈悲には限界があること、そして他力（阿弥陀如来のはたらき）の意義を感じ入られた出来事でした。

### 稲田での教化

聖人は関東に20年ほど滞在され、多くの人々が聖人の教えを受けて門弟となりました。そのため、関東（とくに茨城県、栃木県などの関東北部）には、聖人ゆかりのお寺が多くあります。聖人は関東に滞在されているあいだ、稲田（茨城県笠間市）の草庵にお住まいの時期が長かったようです。その地には現在、西念寺というお寺が建っています。聖人の主著『教行信証』は、ここで執筆されたものです（ただし、京都に帰られた後も推敲を重ねられています）。日常のお勤めで読まれる「正信偈」は、『教行信証』の一節を抜き出したものです。

稲田での出来事として、山伏・弁円を教化された話が伝わっています。聖人の教えが広まると、それを不愉快に思う人も現れるようになりました。その一人が、稲田近くにある板敷山の山伏・弁円です。弁円は、聖人に危害を加えようとして、機会をうかがっていました。やがて、弁円は稲田の草庵を訪れ、聖人を襲おうとしました。しかし、聖人と対面したとたん、弁円はたちまちに改心し、武器を捨て、聖人の門弟となり名前を明法房と改めました。聖人の醸し出す雰囲気が、そうさせたのでしょう。

### 関東から京都へ帰られる

聖人は62、3歳頃、関東を離れ、生地である京都に帰られました。その理由は、聖人が語られていないので定かではありませんが、主に以下の説が唱えられています。

▼門弟たちの教団が安定し、独り立ちできる状態となったため。

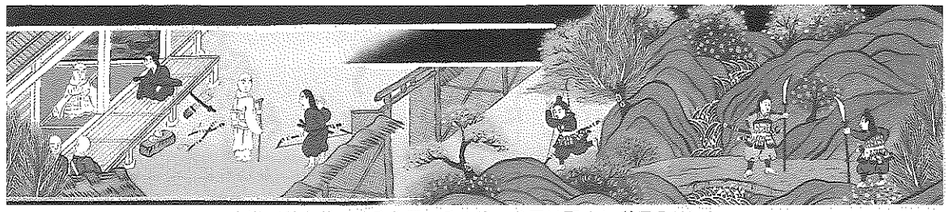
▼『教行信証』を完成させるため。さまざまなお聖教を参照するためには、京都にいることが必要と判断された。

▼法然聖人の文書をまとめた『西方指南抄』を編集するため。

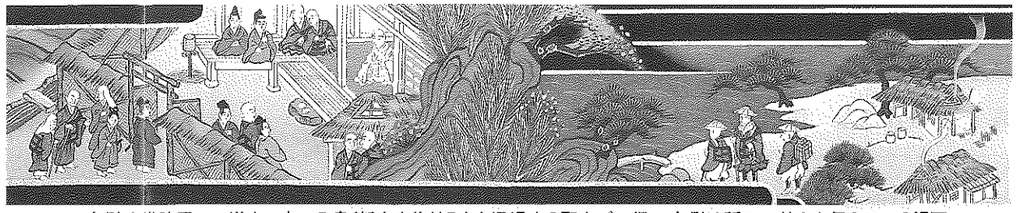
▼60歳を過ぎ、故郷に帰りたくなった（当時の平均寿命は42、3歳程度）。

―参考文献―
『聖典セミナー―親鸞聖人伝絵』（平松令三著、本願寺出版社）
『親鸞聖人関東ご旧跡ガイド』（今井雅晴監修、本願寺出版社）

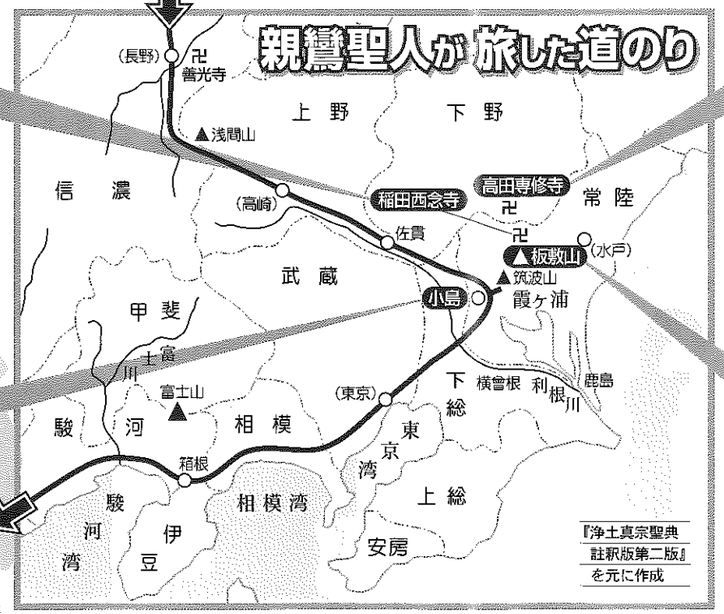
## 【御絵伝】に描かれた関東の親鸞聖人

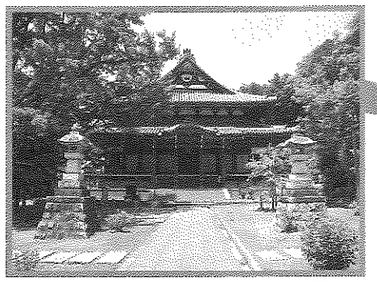


山道で待ち伏せする弁円。その後、弁円は聖人に弟子入りした。

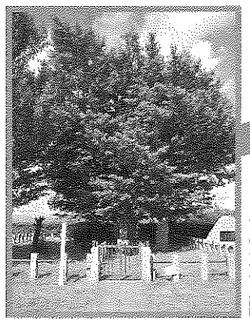


右側は常陸国への道中、室の八島（栃木市惣社町）を通過する聖人ご一行。左側は稲田で教えを伝えている場面。

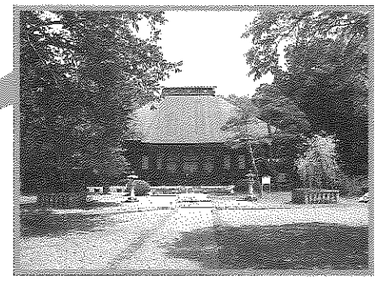


稲田西念寺



小島の草庵跡



高田専修寺

板敷山大覚寺

### 親鸞聖人年表

| 年代 | 年齢 | 出来事 |
|---|---|---|
| 1173（承安3） | 1歳 | ご誕生 |
| 1181（養和元） | 9歳 | 出家得度 |
| 1201（建仁元） | 29歳 | 法然聖人の弟子となる |
| 1207（承元元） | 35歳 | 越後へ流罪となる |
| 1211（建暦元） | 39歳 | 罪を解かれる |
| 1214（建保2） | 42歳 | 越後から関東へ向かう |
| 1224（元仁元） | 52歳 | この年に『教行信証』草稿本成立との説有り |
| 1232～3（文暦元～嘉禎元） | 62～3歳 | この頃、関東から京都へ帰られる |
| 1263（弘長2） | 90歳 | ご往生 |

# 仏教婦人会連盟研修会

## 金子みすゞ いのちへのまなざし

2014(平成26)年6月30日(月)

講師 真宗高田派布教所なごみ庵 坊守 女優 保谷果菜子さん

## ～詩と歌と物語～

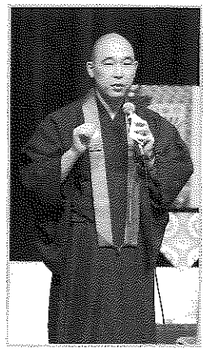
仏教婦人会連盟研修会では、ご講師に舞台女優の保谷果菜子さんをお迎えいたしました。保谷さんは仏教詩人金子みすゞさんの生涯を、一人舞台で演じてくださいました。

金子みすゞさんはわずか26歳で亡くなりました。その生涯、今の現代では考えられないような複雑な家庭環境、そして女性として母親として、苦悩を抱えながら懸命に生きられたことを、劇を通して学ばせていただきました。

劇の合間にみすゞさんの詩を朗読されます。何遍もの詩がありましたが、どれも私たちが日頃を忘れてしまっていることを伝えてくださいました。

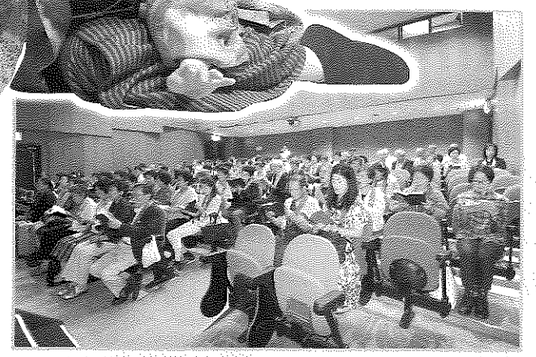
みすゞさんの詩にはいのちへのまなざしがあります。物事をありのままに見る、差別、区別することなく私を願い続けて下さる阿弥陀さまのお心と、相通じるものがあると改めて感じさせていただきました。

会場では涙と感動があり、手を合わせる参加者の姿が尊く映ったご縁でありました。



◀舞台に先立ち、保谷さんの夫である浦上哲也さんより解説と法話がありました。

▼南組仏教婦人会連盟会長の中本園子さん



▲会場／築地本願寺ブディストホール





# 法統継承に際しての消息

## 専如さまが第25代門主にご就任

### 第25代専如ご門主より『法統継承に際しての消息』が発布されました

第24代即如ご門主から法統を継承され、ご長男の専如さまが第25代のご門主に就任されました。2014(平成26)年6月5日の「御譲渡式」を終え、6日に本願寺御影堂で行われた「法統継承式」で専如ご門主は満堂の参拝者を前に、初の「ご消息」となる『法統継承に際しての消息』を発布されました。

「ご消息」とはお手紙のことです。特に浄土真宗では、様々なご縁に際して、歴代のご門主がそのおこころを広く伝えるために出される書簡をいいます。

本日、私は先代門主の意に従い、法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主に就任いたしました。

ここに先代門主の長きにわたるご教導に深く感謝しますとともに、法統を継承した責任の重さを思い、能う限りの努力をいたす決意であります。

釈尊の説き明かされた阿弥陀如来のご本願の救いは、七高僧の教えを承けた宗祖親鸞聖人によって、浄土真宗というご法義として明らかにされ、その後、歴代の宗主方を中心として、多くの方々に支えられ、現代まで伝えられてきました。その流れを受け継いで今ここに法統を継承し、未来に向けてご法義が伝えられていきますよう、力を尽くしたいと思います。

宗門の過去をふりかえりますと、あるいは時代の常識に疑問を抱かなかったことによる対応、あるいは宗門を存続させるための苦渋の選択としての対応など、ご法義に順っていないと思える対応もなされてきました。このような過去に学び、時代の常識を無批判に受け入れることがないよう、また苦渋の選択が必要になる社会が再び到来しないよう、注意深く見極めていく必要があります。

宗門の現況を考えます時、各寺院にご縁のある方々への伝道はもちろんのこと、寺院にご縁のない方々に対して、いかにはたらきかけていくのかを考えることも重要です。本願念仏のご法義は、時代や社会が変化しても変わることはありませんが、ご法義の伝え方は、その変化につれて変わっていかねばならないでしょう。現代という時代において、どのようにしてご法義を伝えていくのか、宗門の英知を結集する必要があります。

また、現代のさまざまな問題にどのように取り組むのか、とりわけ、東日本大震災をはじめとする多くの被災地の復興をどのように支援していくのかなど、問題は山積しています。

「自信教人信」のお言葉をいただき、現代の苦悩をともに背負い、御同朋の社会をめざして皆様と歩んでまいりたいと思います。

平成二十六年　六月六日

龍谷門主　釋専如

# 2015(平成27)年の予定

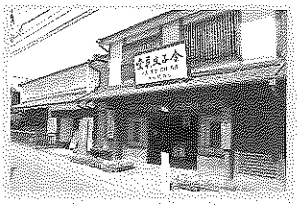
## 6月1日(月)～3日(水)　団体参拝　島根・山口

訪問予定地：温泉津(ゆのつ)(安楽寺)、萩(松下村塾・伊藤博文旧宅・萩城跡)、長門(金子みすゞ記念館)、秋芳洞、下関など

安楽寺

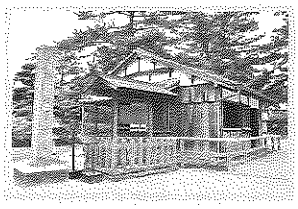
浅原才市の家

金子みすゞ記念館

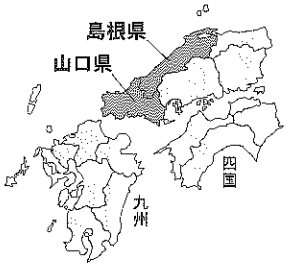


秋芳洞

松下村塾



伊藤博文旧宅




## 10月20日(火)　午後1時30分～　南組仏教壮年会・仏教婦人会合同研修会

会　　場：築地本願寺ブディストホール

## 南組(みなみそ)とは

浄土真宗本願寺派では、全国を31の「教区」と沖縄開教区に区分けして、各教区を地域ごとに「組(そ)」に細分しています。関東地方・山梨県・静岡県は「東京教区」に属しており、その中で東京都品川区・大田区・目黒区と世田谷区の一部は「南組」の地域です。本誌で紹介しましたように、南組の寺院は組としての共同の活動に取り組んでいます。

### 南組に所属する浄土真宗本願寺派(お西)のお寺です

| | | |
|---|---|---|
| 西光寺(さいこうじ) | 品川区大井4-22-16 | ☎3777-6070 |
| 最徳寺(さいとくじ) | 大田区大森北3-18-25 | ☎3761-6811 |
| 徳淨寺(とくじょうじ) | 大田区大森東1-16-22 | ☎3761-4127 |
| 厳正寺(ごんしょうじ) | 大田区大森東3-7-27 | ☎3761-4945 |
| 久宝寺(きゅうほうじ) | 大田区本羽田3-17-1 | ☎3742-0886 |
| 海岸寺(かいがんじ) | 大田区本羽田3-17-6 | ☎3742-0921 |
| 福泉寺(ふくせんじ) | 大田区萩中3-27-10 | ☎3742-2048 |
| 光教寺(こうきょうじ) | 大田区中央4-35-3 | ☎3771-9408 |
| 専浄寺(せんじょうじ) | 世田谷区等々力6-7-10 | ☎3701-4753 |
| 報身寺(ほうしんじ) | 大田区萩中1-11-16 | ☎3738-0870 |
| 正覚寺(しょうがくじ) | 大田区萩中1-13-13 | ☎3731-9212 |
| 延徳寺(えんとくじ) | 大田区萩中1-12-17 | ☎3732-1472 |
| 福称寺(ふくしょうじ) | 大田区萩中1-12-20 | ☎3738-1720 |
| 妙覚寺(みょうかくじ) | 大田区萩中1-12-29 | ☎3738-3091 |
| 善永寺(ぜんえいじ) | 大田区萩中1-11-24 | ☎3739-5641 |
| 真光寺(しんこうじ) | 大田区萩中1-13-6 | ☎3731-5644 |
| 浄興寺(じょうこうじ) | 大田区東矢口2-10-9 | ☎3759-8673 |
| 唯称寺(ゆいしょうじ) | 品川区小山4-9-15 | ☎3782-2486 |
| 宗導寺(しゅうどうじ) | 目黒区目黒本町6-19-3 | ☎3712-6811 |
| 西教寺(さいきょうじ) | 品川区豊町1-8-12 | ☎3781-6154 |
| 善照寺(ぜんしょうじ) | 大田区南馬込4-9-11 | ☎3771-8700 |
| 永正教会(えいしょうきょうかい) | 目黒区鷹番2-17-5 | ☎3714-0767 |